



柏木哲夫

金城学院大学学長 大阪大学名誉教授 淀川キリスト教病院名誉ホスピス長

#### プロフィール

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務  
その後3年間、ワシントン大学に留学  
1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設  
同時にターミナルケア実践のためのチームを結成  
1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て  
1993年大阪大学人間科学部教授就任(人間行動学講座)  
淀川キリスト教病院名誉ホスピス長  
大阪大学定年退官後  
2004年4月より金城学院大学学長  
日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長  
1994年日米医学功労賞  
1998年朝日社会福祉賞  
2004年保健文化賞受賞

#### 講演趣旨

##### ケアの本質

ケア(care)はキュア(cure、治療、治癒)はできなくとも、ケアはできるという点で、キュアと対比される。  
ケアの本質は双方向性と成長である。ケアは提供する人から受ける人への一方通行ではない。提供する人は受ける人から多くのものを受けとり、教えられる。ケアはcaring relationship(配慮的關係)を通して、提供する人、受ける人の双方に人間的な成長をもたらす。  
ケアの雛形であるターミナルケアの経験からケアの本質について述べてみたい。